

# 電子納品実施に向けた 取り組みについて Ⅱ



ウィンドウズ・ライブ・メッセンジャー  
(Windows Live Messenger)を用いた情報共有

# はじめに

国道208号玉名バイパス工事においては、平成16年8月から電子メールを用いて情報交換を実施してきましたが、ここでは平成18年7月より実施している、ウィンドウズ・ライブ・メッセンジャーの**共有フォルダ機能**（一元管理ソフト併用）を利用した、情報共有の取組み方を紹介するものです。

# 情報共有とは

- ・工事施工中において、従来、受発注者が相対して紙書類のやり取りを行っていたものを、両者の間に情報を共有・蓄積するためのサーバ等を介して、受発注者がインターネットを利用して情報のやり取りを行う事を言う。

- 【利点】
- ①文書管理の効率化
  - ②移動時間の短縮

## 【情報共有するには】

- ①電子メール方式(H16.8～)
- ②情報共有方式→発注者サーバ、外部(ASP)サーバを用いる。  
H18.7より**ウィンドウズ・ライブ・メッセンジャー**を利用している。

Application Service Provider

# 情報共有 (業務品質が飛躍的に向上します)

## 電子メール



受注者  
(現場代理人)

発注者(主任監督員)

## ウインドウズ・ライブ・メッセンジャー



受注者  
(現場代理人)

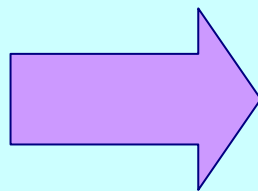
発注者(主任監督員)

# 玉名バイパス工事での 情報共有の取組み概要

玉名B.Pホームページ  
『取寄頁』  
とりよせページ

ダウンロード

受注者側

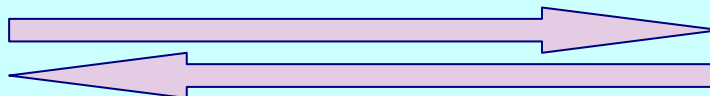


【定形帳票様式】  
・工事打合簿  
・材料確認願  
・段階確認願  
・確認・立会願  
・履行報告書  
・  
・  
・

INTERNET

Windows Live Messenger

発注者側

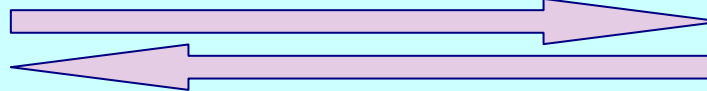


# 情報共有イメージ図 (Windows Live Messenger)

受注者側PC



同期



発注者側PC



受注者側PCでファイルを作成すると、発注者側PCにも同じファイルが作成される。

※同期とは、同じデータを複数の場所に保存している時に一箇所でデータが更新されると他の場所で保存されているデータにも変更が自動的に反映され、常に同一性が保持されることを言う。

# 一元管理ソフト(DocuWorks)

DocuWorks Desk

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 文書(D) ページ(P) プラグイン(I) ヘルプ(H)

DocuWorks Desk

- ユーザーフォルダ
- リンクフォルダ
  - 01三菱・高田JV
  - 02岩永組
  - 03明治建設
    - 00提出フォルダ
      - 01簡素化以外の提出
      - 02工事打合簿<簡素化>**
      - 03段階確認簿<簡素化>
      - 04確認・立会願<簡素化>
      - 05材料確認簿<簡素化>
      - 06休日・作業届け<簡素化>
    - 01施工計画書
    - 02工事打合簿
      - 01指示
      - 02協議
      - 03承諾
      - 04提出
      - 05報告
      - 06通知
      - 07届出
    - 03実施工程表
    - 04工事履行報告書
    - 05段階確認願い
    - 06確認・立会願い
    - 07材料確認願い
    - 08週間工程表
    - 09現場代理人・管理技術者不在届
    - 10工事カルテ
    - 11施工体制台帳
    - 12その他
  - 04保全工事

060731 M 排出ガス対策型建計

工事打合せ簿<簡素化>

1/22

発注者側PCで、閲覧～サインをすると、受注者側のPCも更新される。

閲覧、処理後に“02工事打合簿”に移動する。  
(エクセルファイルは移動しないで上書きしていく)

スタート 電子納品実施... Microsoft Pow... DocuWorks D... A般 CAPS KANA Phone アドレス 12:23

# 利用環境に関するメリット、デメリット

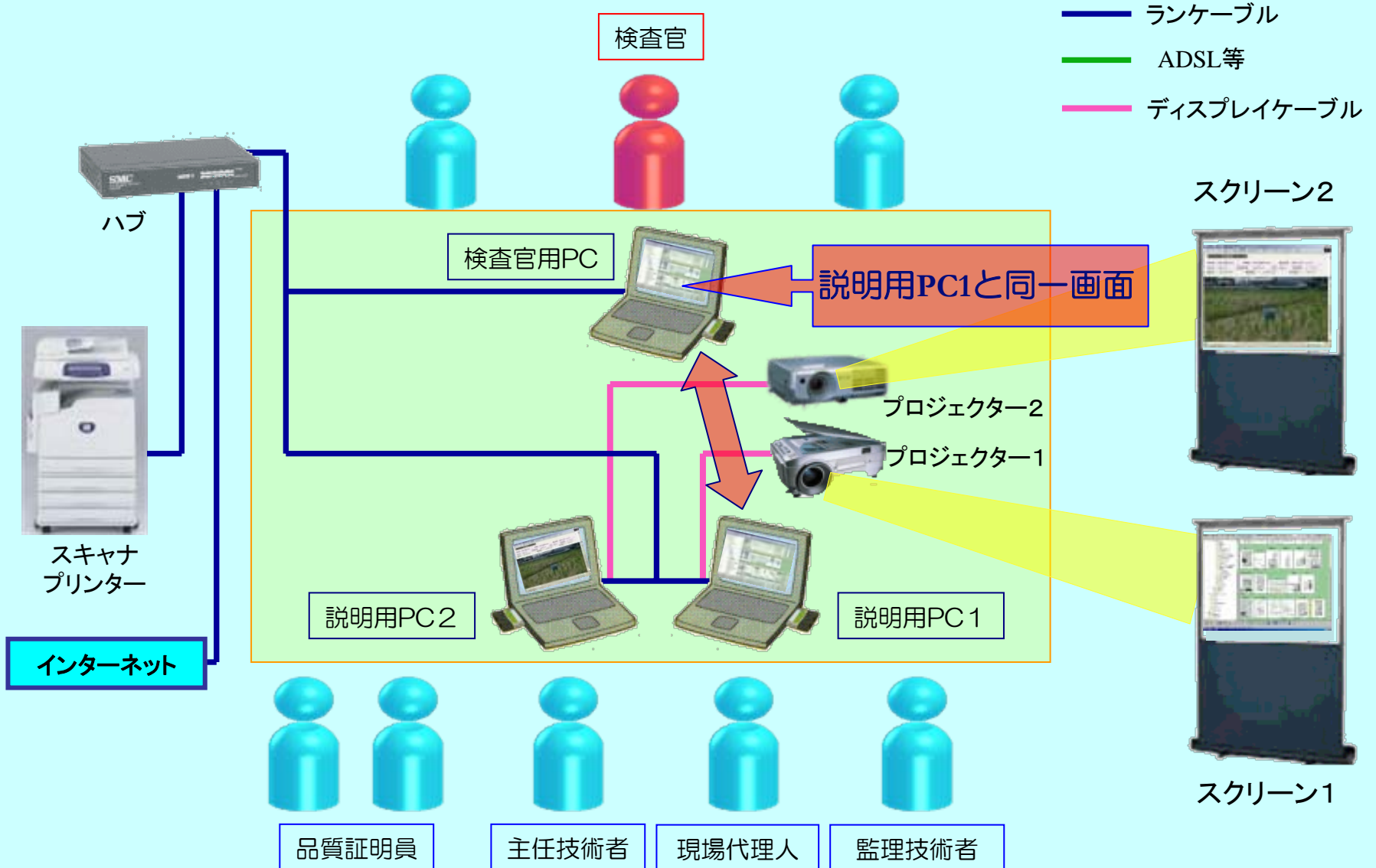
	メリット	デメリット
電子メール	<ul style="list-style-type: none"><li>・利用環境の構築が容易</li><li>・特別な講習会は不要</li><li>・受発注者間の時間的制約を受けない</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・データ管理は原則、個人</li><li>・ファイル管理が大変</li><li>・データが届かない場合有り</li><li>・原本製の確保が難しい</li></ul>
ウィンドウズ・ ライブ・ メッセンジャー	<ul style="list-style-type: none"><li>・無料</li><li>・操作が簡単</li><li>・ファイル管理が容易</li><li>・原本性の確保が容易</li><li>・そのままのフォルダ構成で受験できる。(検査時には、出来形管理等を追加する必要有り)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・受発注者相互のPCのハードディスクに大容量の空きが必要(特に発注者側PC)</li><li>・双方のPCがONライン状態でなければ同期できない。</li></ul>



# ウィンドウズ・ライブ・メッセンジャーを用いた情報共有の効果

“情報共有”するには特別な知識、技能または、ASPなどの情報共有サーバが必要であると思われがちですが、ウィンドウズ・ライブ・メッセンジャーを利用すれば、簡単にしかも無料で情報共有が可能になり、また、完成検査もそのままの形で電子で受検可能となり、電子納品する際も従来の紙ベースでやり取り→紙で検査→紙をスキャニング→電子納品する方法に比べると、より大きな省力化が図れます。

# 受検システムのイメージ



# 電子による完成検査状況

